

【2013 板橋シティマラソン（東京都板橋区医師会）】

地区医師会が行政機関などと協力して板橋区医師会の健康スポーツ医が救護の活動をしている大会で、日本医師会認定健康スポーツ医の再研修会としても認定されている。板橋区と医師会の間では、契約書などは交わしていない。区による事業の委託という形で行っている医師への出動費は板橋区から支給される。使用する医薬品は板橋区から支給される。医療過誤が発生した場合は、日本医師会の医師賠償責任保険が適用される。出動時間は、当日は7:00 から 17:00 である。コースマップ、救護所について資料 1 に示す。

1. 参加者

出走者	フルマラソン	13,663 名
	5 k m	737 名
	ジュニア、キッズ、車椅子	300 名

フルマラソン完走者は 13,307 名で、フルマラソン完走率は 97.4%であった。

2. 救護所の構成

救護所は、スタートおよびゴール地点の本部会場救護本部、コース上の7ヶ所の救護所、フルマラソン最後尾車両である。各救護所には、医師、看護師が駐在し、柔道接骨師および板橋区スポーツ推進委員も参加した。各救護所の人員などは資料 2 を参考とされたい。

帝京大学医療技術学部スポーツ医療科の教授・講師などのスタッフ 8 名、学生 59 名で構成された救命ボランティアは、本部会場救護所およびコース上の約 1 k m ごとに 2-3 名のチームで配置された。マラソンコース上における傷病者発生への報告は、救命ボランティアから各救護所の医師に連絡され、「意識なし・痙攣」、「頭痛・胸痛・気分が悪い」、「その他・怪我など」などの状況に応じた連絡体制を整えた（資料 3）。

AED は合計 33 台で、本部、コース救護 1-7、最後尾救護車両、および救護ボランティア各チームに 1 台ずつ装備した。今大会では AED を使用することはなかった。

3. 医療業務報告

今回の医療業務の結果は以下のようである。

救護所に対応した競技者	268 名
救急車による搬送	2 名
救命ボランティアの出動	6 回
AED 使用	0 回
治療の内訳（関節痛 95 名、筋性疲労・痙攣 58 名、転倒など 24 名、脱水など 19 名、足水ほう 13 名）	

参考資料（板橋 city マラソン・大会運営マニュアル 2013. 3. 24 より）

- 資料 1. コースマップ
- 資料 2. 業務内容 (各救護所の配置車両、担当者、人数)
- 資料 3. 緊急時通信体制
- 様式 1. 救護台帳
- 様式 2. 診療依頼書
- 様式 3. 医療救護件数報告書

資料 1

10. 医務部 コースマップ (救護所の位置と緊急車両の出入口)

コースマップ (救護所の位置と緊急車両の出入口)

10. 医務部



## 10. 医務部

## 業務内容

## ●担当者

係名・場所	配置車両	担当	人数
本部救護 (メイン会場) 板橋区	・ 1BOX車 4台 ・ 救急車 1台 (予定) ・ 自転車 16台 (救ボラ10・ブロック主任4・予備2)	医師・柔道接骨師 看護師 板橋区 志村消防署 東京陸協	8・6 8 10 2 3
医師待機場所 (1km-41.2km) 赤羽ゴルフ場	・ 1BOX車 1台	医師 看護師	1 1
北支部救護 (3.6km-38.6km) 新荒川大橋上流	・ 1BOX車 2台 ・ 救急車 1台 (予定) ・ マイクロバス 1台 ・ 自転車 15台 (救ボラ8・ブロック主任5・予備2) ・ 乗合バス 2台 (関門用)	医師・柔道接骨師 看護師 板橋区	1・2 2 5
足立支部救護 (8.8km-33.4km) 江北橋下流側足立区公園緑地	・ 1BOX車 2台 ・ マイクロバス 2台 ・ 乗合バス 1台 ・ 自転車 24台 (救ボラ12・ブロック主任7・予備5)	医師・柔道接骨師 看護師 板橋区	1・2 2 5
西新井支部救護 (11.9km-30.3km) 西新井橋下流側	・ 1BOX車 2台 ・ 救急車 1台 (予定) ・ マイクロバス 1台 ・ 乗合バス 1台 ・ 自転車 22台 (救ボラ10・ブロック主任7・予備5)	医師・柔道接骨師 看護師 板橋区	1・2 2 5
堀切救護 (14.9km-27.3km) 堀切橋下流側	・ 1BOX車 2台 ・ 自転車 6台 (救ボラ2・ブロック主任2・予備2) ・ 乗合バス 1台	医師・柔道接骨師 看護師 板橋区	1・2 2 3
墨田支部救護 (15.4km-26.8km) 堀切橋下流側サッカー場	・ 1BOX車 2台 ・ 救急車 1台 (予定) ・ マイクロバス 2台 ・ 自転車 14台 (救ボラ6・ブロック主任4・予備4)	医師・柔道接骨師 看護師 板橋区	1・2 2 5
江戸川支部救護 (19.3km-22.9km) 平井大橋上流	・ 1BOX車 3台 ・ 救急車 1台 (予定) ・ マイクロバス 1台 ・ 乗合バス 1台 ・ 自転車 19台 (救ボラ9・ブロック主任6・予備4)	医師・柔道接骨師 看護師 板橋区	1・2 2 5
最後尾救護車両	・ 乗用車 1台 (最後尾車) ・ 1BOX車 1台 (救護車) ・ 1BOX車 2台 (収容車)	医師 看護師	1 1
責任者			
統括責任者			

## ●作業内容

<p>■本部救護 会場内における医療・救護業務、各救護所との連絡調整。</p> <p>■支部救護所 ・ コース上における医療・救護業務。最終競技者が通過後業務終了とする。 ・ レース中のメイン会場への搬送は、上記1BOX車等を使用。 ・ リタイア者のランナーズチップを回収し、救護報告書と一緒に大会本部に届ける。</p> <p>■最後尾救護車両 競技者の最後尾を走行しての医療・救護業務。</p>
--

## ●進行要領

時間	内容
6:30	救命ボラ隊集合 (メイン会場救護本部テント前) / 業務内容説明
7:00	医師・看護師・柔道接骨師集合 (メイン会場救護本部テント前) / 業務内容説明
8:00	業務配置スタンバイ
9:00	マラソンスタート
16:00	最終競技者フィニッシュ
17:00	後片づけ後業務終了

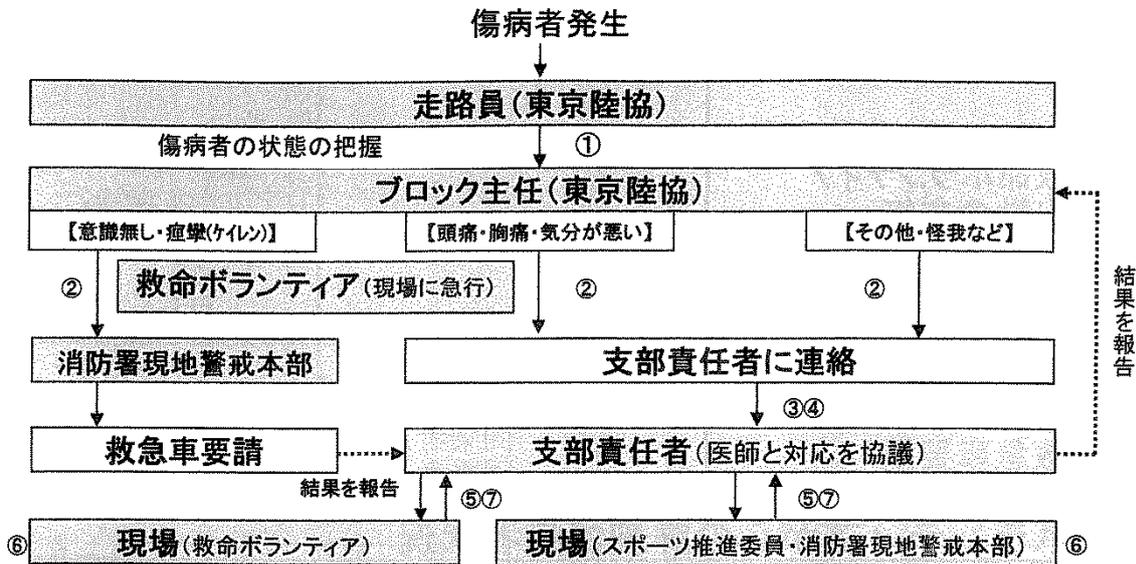
緊急時通信体制

1. レース緊急時通信体制

- ①**走路員**は、傷病者を発見したら、ブロック主任に口頭または電話で連絡する。
- ②**ブロック主任**は、

<b>【意識無し・痙攣(ケレソ)】</b> (1)救命ボランティアに現場に急行するよう指示する。 (2)消防署現地警戒本部に電話し、救急車を要請する。	<b>【頭痛・胸痛・気分が悪い】</b> (1)救命ボランティアに現場に急行するよう指示する。 (2)傷病者の状況を、支部責任者に電話で連絡する。	<b>【その他・怪我など】</b> (1)傷病者の状況を、支部責任者に電話で連絡する。
---	---	--

- ③**支部責任者**は、傷病者の状況を、傷病者状況メモまたは口頭により医師に伝達する。
- ④**医師**は、傷病者の対応(処置・搬送)を決定する。
- ⑤**支部責任者**は、決定した傷病者の対応(処置・搬送)を救命ボランティア・スポーツ推進委員・消防署現地警戒本部に連絡する。
- ⑥**救命ボランティア・スポーツ推進委員・消防署現地警戒本部**は、連絡に従い、対応(処置・搬送)を行う。
- ⑦**対応(処置・搬送)が完了した救命ボランティア・スポーツ推進委員・消防署現地警戒本部**は、支部責任者に対応(処置・搬送)が完了した旨を報告する。※救命ボランティアは、救命ボランティア統括者にも、傷病者の状況・行った対応を報告する。



- ※支部までの搬送は支部対応
- ※各ブロック主任と救命ボランティアは、約1kmおきに設置するテントで待機
- ※救命ボランティアは(意識なし・痙攣・頭痛・胸痛・気分が悪い)の場合、出勤する。
- ※救急車には原則、支部責任者以外のスポーツ推進委員が同乗する。

2. 救急車要請時の注意事項

原則として大会中はブロック主任又は支部責任者の要請により、河川敷内(救護所)に配備されている救急車が、現場へ向かいます。

ブロック主任又は支部責任者以外が救急車を要請する場合は、119番通報ではなく該当ブロックの支部責任者、意識なし・痙攣の場合は消防署現地警戒本部に連絡をしてください。

ブロックごとの支部責任者、消防署現地警戒本部の連絡先は以下の表となります。

※119番通報より現場に早く到着することが見込めますので、冷静に対処をお願いします。

ブロック名	支部責任者	消防署現地警戒本部 ※ 意識なし・痙攣(けいれん)の時
1~3	080-0000-0000	03-0000-0000
4	080-0000-0000	080-0000-0000
5~9	080-0000-0000	080-0000-0000
10~13	080-0000-0000	080-0000-0000
14	080-0000-0000	080-0000-0000
15~16	080-0000-0000	080-0000-0000
17~23	080-0000-0000	080-0000-0000
24	080-0000-0000	080-0000-0000
25~28	080-0000-0000	080-0000-0000
29~34	080-0000-0000	080-0000-0000

救護報告書  
**救護台帳**

〇〇支部

<b>※ご自身で太枠部分をご記入ください</b>			
ゼッケン ナンバーカード 番号		受診時間	時 分
<b>お名前</b> ・ <b>ご連絡先</b>	氏 名	年齢・性別 (            歳 )( 男・女 )	
	住 所	(            )	
	電 話	(            )            —            ※緊急の場合の連絡先	
<b>具合の悪い ところは どこですか？</b>			

<b>【記 事】</b>	
(1) 傷病名	転倒・擦過傷(足・大腿・下肢・乳首・その他)    足水疱 関節痛(足・膝・腰・その他)    捻挫(足・膝)    筋性疲労 急性腰痛症    挫創(            )    打撲(            )    筋痙攣 内科(嘔吐・脱水・発熱・下痢・腹痛) その他
(2) 発生時の状況	
(3) 治療	スプレー・クーリング・湿布・テーピング・包帯固定・三角巾・消毒・点滴 ※医療機関への搬送(            病院) その他(            )
(4) その他	①過去に救護所で治療を受けたことがある ( ある ・ ない ) 治療内容(            )
救護所診療医師名	

救護報告書

# 診療依頼書

平成25年3月24日

## 板橋Cityマラソン実行委員会

下記のものに対する搬送及び診療をお願いします。

受付番号			受診時間		
ゼッケン番号				時	分
場 所	救護本部・医師待機所・北支部・足立支部・西新井支部 掘切救護・墨田支部・江戸川支部・最後尾救護車				
傷病者	氏 名	年 齢・性 別			
			歳	男・女	
	住 所	〒			
	TEL( )	—			
保険証	有・無	傷病発生日時	月	日	時 分頃
		傷病発生場所			
症 状					
【記 事】					
(1) 傷病名	転倒・擦過傷(足・大腿・下肢・乳首・その他) 足水疱				
	関節痛(足・膝・腰・その他) 捻挫(足・膝) 筋性疲労				
	急性腰痛症 挫創( ) 打撲( ) 筋痙攣				
	内科(脱水・発熱・下痢・腹痛)				
	その他				
(2) 発生時の状況					
(3) 治療	スプレー・クーリング・湿布・テーピング・包帯固定・三角巾・消毒				
	その他( )				
(4) その他					
	救護所診療医師名				

救護報告書

平成25年3月24日

**医療救護件数報告書**

板橋Cityマラソン実行委員会

	①救急告示 病院へ搬送	②医師が診療 を行い治療行 為を実施	③疲労、足ま め、筋肉痛な ど軽易な場合	計
救護本部 報告責任者( )	件	件	件	件
医師待機所 報告責任者( )	件	件	件	件
北支部 報告責任者( )	件	件	件	件
足立支部 報告責任者( )	件	件	件	件
西新井支部 報告責任者( )	件	件	件	件
堀切救護 報告責任者( )	件	件	件	件
墨田支部 報告責任者( )	件	件	件	件
江戸川支部 報告責任者( )	件	件	件	件
最後尾救護車両 報告責任者( )	件	件	件	件
合 計				

注)業務終了後、各報告責任者は、「救護台帳」を添付のうえ、3月24日中に大会本部まで提出してください。